



インスピレーションになろう

Rotary International District 2800

# 山形西ロータリークラブ会報

会長：小林 恵一 幹事：菅原 茂秋

地区目標 「ロータリーの原点に戻ろう」 BACK TO BASICS

クラブテーマ 「あなた自身のロータリーを生きる」 ところに奉仕と友情の灯をともそう

- ◆点鐘：小林 恵一 会長
- ◆ロータリーソング：四つのテスト
- ◆司会：新藤 幸紀 S.A.A.
- ◆会場：山形グランドホテル

Yamagata West Rotary

第2832回例会

平成30年12月17日(月)

## 会長挨拶

小林 恵一 会長



みなさんこんばんわ。2018（平成30）年もいよいよ残すところあと僅かとなりました。年の瀬を控え何かと慌しいなか「クリスマス家族会」に、ご来賓の方々はじめ、会員及びご家族の皆様にご参加頂き誠に有難うございます。歓迎申し上げますとともに是非今宵は、ご家族と和やかな一夜を過ごして頂きたいと思ひます。

日本にクリスマスが定着しましたのは、1920年代、大正時代ではないかと思われまふ。

1923（大正12）年 東京日日新聞に、坊ちゃん、嬢ちゃんに歓迎されるクリスマスプレゼントは年々盛んになるばかりとあり、人気のプレゼントの一つにサンタクロース人形が取り上げられています。

また、1927（昭和2）年「民族断篇」という著作に、「どんな子供でもサンタクロースが白い羊毛で縁取った赤い服を着て、大きな袋を背負ってトナカイの櫓に乗ってやってきて煙突から室内に入り、良い子に玩具や何かを

くれてゆくことは知っている」との記載があり、「クリスマスは今や日本の年中行事となりサンタクロースは立派に日本の子供のものになった」の記事が掲載されています。

一方、世界にはグリーンランド国際サンタクロース協会というのがあり、協会が認定する公認サンタクロースは現在世界に120人いて、クリスマスを自宅で過ごすことが出来ない子供たちのため、クリスマスより一足早く福祉施設や小児病棟などを訪問しているようです。

1988年から17年間、この時期、毎年チリに行っておりました。向こうは真夏のクリスマスです。サンタは「ムーチョ・カリエンテ！」暑い暑いと云いながらプレゼントを配るのに大汗をかいて大変です。そこで聞いた話、オーストラリアでは「サンタは海からサーフボードでサーフィンをしながらやってくる」そうです。

帰路、首都サンチアゴから北上し赤道を越しますと、ニューヨークでは一転「ホワイトクリスマス」です。彼の国々では、いずれも敬虔なクリスチャンの一面を覗かせ日本とは一味違うクリスマスでした。でもサンタは、良い子には玩具やお菓子を、悪い子には炭を配る伝説はいつでも共通のようです。

それではこの後、日本流のクリスマスで、今年も良い年越しになるよう楽しんで頂きたいと思ひます。



# クリスマス家族会



〈会長あいさつ〉  
小林 恵一 会長



〈来賓あいさつ〉  
手塚 孝樹  
山形青年会議所 副理事長



〈来賓あいさつ〉  
白田 廣庄  
第5ブロックガバナー補佐



〈乾杯〉  
半田 稔 直前会長



〈開会あいさつ〉  
武田 岳彦  
親睦・家族委員長



〈閉会あいさつ〉  
佐藤 章夫 副会長





<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (12/17)	97名	67名	修正出席 (12/3)	97名	86名	84名	97.67%
メイクアップされた会員	(山 形) 大西 章泰、長岡 壽一、原田 久雄、武田 周治、清野 伸昭、横山 隆太、大城 誠司、澤渡 章、 富田 浩志、武田 良和、佐藤 章夫						